

# 戦後改革期 文部省実験学校 資料集成

全9巻

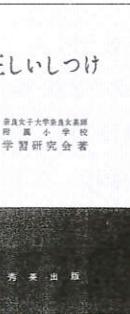
関連図書

戦後新教育・「実力の検討」実践資料集 全4巻

◎編・解題 水原克敏（早稲田大学教育・総合科学学術院教職研究科特任教授）  
\*解題は第1巻巻頭に収録

◎体 裁 — A4判／上製本／総約3,900頁

◎掲定価 本体 225,000円十税



▲資料34  
(1950年10月)

◎配本概要

配本 卷数	収録資料			本体価格	刊行時期
	第1巻	第2巻	第3巻		
資料1~6	資料7~10	資料11~14	資料15~18	本体75,000円十税	2015年6月刊行
資料11~14	資料19~22	資料23~24	資料25~30	本体75,000円十税	2015年12月刊行
資料31~32	資料33~35	資料31~32	資料33~35	本体75,000円十税	2016年5月刊行

萩原真美 解題  
旧制城高等学校尋常科地理自学書集 全1巻  
◎復刻によせて  
本資料集成には、一九五一（昭和二六）年以前の文部省実験学校の報告書を中心に、関係する実践記録と文部省による調査資料・学習指導要領・編修会議・教育課程審議会記録等を含めた。これらの収録資料によって、戦後改革期の文部省が、実験学校を中心としたような新しい学校教育を創ろうとしていたのか、その内実を把握することができる。  
この時期は、文部省実験学校のほかに各都道府県の実験学校、近畿新教育実験学校協会、そして民間の教育実践校（プラン）が存在したこととは周知のとおりであるが、文部省実験学校の諸成果と比較するなら、どのような違いや影響関係があるのであろうか。  
教育課程行政の確立過程という観点から見ると、一九四七年学習指導要領では社会科を中心としたカリキュラム、一九五一年改訂でカリキュラムの自由化、そして一九五八年改訂では教科カリキュラムへの統一という経緯を辿る。

文部省実験学校では、コア・カリキュラムのほか広域型・複合型・総合型・教科型カリキュラム等々の実験がなされ自由化されたことは周知のとおりであるが、文部省実験学校の諸成果と比較するなら、どのような違いや影響関係があるのだろうか。  
この時期は、文部省実験学校のほかに各都道府県の実験学校、近畿新教育実験学校協会、そして民間の教育実践校（プラン）が存在したこととは周知のとおりであるが、文部省実験学校の諸成果と比較するなら、どのような違いや影響関係があるのだろうか。  
教育課程行政の確立過程という観点から見ると、一九四七年学習指導要領では社会科を中心としたカリキュラム、一九五一年改訂でカリキュラムの自由化、そして一九五八年改訂では教科カリキュラムへの統一という経緯を辿る。

不二出版

車 章 教 育 科 學 社  
東京高等師範学校附属小学校内初等教育研究會著  
コーラ・カリキュラムの研究

▲資料12 (1949年11月)

◎体 裁 — A4判／上製本／総約3,900頁  
◎掲定価 本体 225,000円十税

2015年6月刊行開始(全3回配本)

# 文部省実験学校 資料集成

全9巻

【編集復刻版】  
水原克敏 編・解題

戦後改革期における文部省の動向が分かる資料を含む、「東京高等師範」「東京学芸大学第一・第三師範」「千葉師範」「長野師範」「奈良女子高等師範」の各附属小学校（一部中学校・高等学校）が報告した資料を収録。カリキュラム史、教育実践史研究に必須の資料である。

◎復刻によせて

本資料集成には、一九五一（昭和二六）年以前の文部省実験学校の報告書を中心に、関係する実践記録と文部省による調査資料・学習指導要領・編修会議・教育課程審議会記録等を含めた。これらの収録資料によって、戦後改革期の文部省が、実験学校を中心としたような新しい学校教育を創ろうとしていたのか、その内実を把握することができる。  
この時期は、文部省実験学校のほかに各都道府県の実験学校、近畿新教育実験学校協会、そして民間の教育実践校（プラン）が存在したこととは周知のとおりであるが、文部省実験学校の諸成果と比較するなら、どのような違いや影響関係があるのだろうか。  
教育課程行政の確立過程という観点から見ると、一九四七年学習指導要領では社会科を中心としたカリキュラム、一九五一年改訂でカリキュラムの自由化、そして一九五八年改訂では教科カリキュラムへの統一という経緯を辿る。

文部省実験学校では、コア・カリキュラムのほか広域型・複合型・総合型・教科型カリキュラム等々の実験がなされ自由化されたことは周知の通りである。ぜひ、本資料集成を活用することで、戦後改革の教育実践・カリキュラム開発そして教育課程行政の研究に新たな知見を創出したい。

不二出版

T-113-0023  
東京都文京区向丘1-2-12  
電話03-3812-4433  
ファクシミリ03-3812-4466  
振替00160-2-94084

表示価格はすべて税別

## ○収録一覧

## ○ 内容見本

## 実験学校における提案の意義

一序言に代えて

第十章 第一学年の基礎学習の指導と健康教育

日本は民主主義を  
かわつねた結果的影響をもたらしてしまわぬとして、必ずしも實踐において實現的  
遂行規則に教育課程や各教科の目的、内容などを示され、それが教科書に具體化され、教師としての  
実践を支配したのである。然るに新しい日本においては、國民の總意に基いて國會が議決して命令としての  
規則は存在しない。そこで、教育基本法及び學校教育法が法律として制定せられた。その學校教育法の  
程、教科内容及びその取扱いについては、「學習指導要領の基準による」とあり、そして學習指導要  
準を、各地方の地域社會並びに兒童生徒の實態に即應して具體化し、結局各學校、各教師が自らの  
ねばならぬことを要請していく。この最も具體的・實踐的な教育計畫こそ、日常の教育活動を規制  
科書の如きも、この設計のもとに活用せらるべき一種の方針的手段である。  
いのうにして今や教育法規は國民の總意により、その具體的實踐方策は教師の責任において規  
民主的教育機構のもとに、何よりも必要なことは、不斷の研究による實踐方策の反省と改善とであ  
材研究課の主管する實驗學校は、このことを特に率先して實行することを任務としている。實  
驗學校（experimental school）とは兒童生徒を模倣にして教育をもつてある學校ではない。それはまた他に誇りある  
school）でもなく、世間に見せるための公開學校（demonstration school）でもない。むろん實驗な  
信する教育を、誠懃に誠心に試みるといふの試行學校（trial school or try out school）である。  
か研究學校とか呼ぶのは、實質上、この意味における試行學校にはがならない。  
昭和二十二年度最初の仕事として實驗學校に依頼されたのは、各教科の學習指導の年次計畫であ  
領の基準により、兒童生徒の活動を主體とする單元學習の具體的指導計畫を意味する。千葉師範學  
校とを希望するものである。

とお希望するものである。

昭和二十二年六月一日

— 2 —

### 資料 21 (1950 年 2 月)

▲資料17「低学年カリキュラムの実際」(1949年12月)